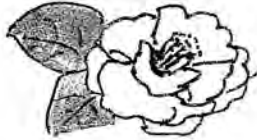




# 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



## 新年を迎えて

会長 川井 秀夫

新年明けましておめでとう御座います。

会員各位には、清々しい新たな思いで新年を迎えられた事と存じます。

今年も心身共に健全な、公私両面で充実した一年であります様、心から念じております。さて

今年は十二支では亥年ですが、08'年は（来年の事を言うと鬼が笑いますが）干支では例年になく地球規模で大きな変化があると言われており、その予備年である今年が良い時代のスタートであればと考えております。

よく四字熟語で「猪突猛進」の言葉が聞かれますが、少し立ち止まって来し方、行く末を考えるのも必要では無いでしょうか。

本会も発足後六年目に入ります。昨秋、曾爾高原での五周年記念行事には多数の参加者を迎え、色々な研修と懇親の輪が広がり、有意義な二日間でした。

過去をベースにして、これからの5年をどうするか。今年の大きな課題と位置付け、活動行事の充実、会の構成・運営の在り方、会報誌の刷新、活動資金の確保、新会員の勧誘等々。会員各位のご意見を反映し、幹事諸氏とも議論を詰め、それぞれの価値観が違う中で一元的な形は難しいとは思いますが、発展的に思考を続けたいと思います。

私事で恐縮ですが、先日ノロマな事でノロウイルスに感染致しました。幸い三日間で本復致しましたが、日頃の鍛練の賜と安堵致しました。高齢化が進む中で認知症の予防マニュアルも喧しく報道されております。有酸素運動・知的活動・人との会話・食生活等々無関心でおられなくなってきました。老婆心ながら会の活動にはこれらの事が自然に実行できる場があります。どうぞ今年も気楽に現場へお出掛け下さい。

「意欲を持つ」「無理をせず」「楽しく」をモットーにお互い頑張りたいと思います。ご支援の程よろしく願い申し上げます。

WITH YOU nature & person in NARA



## 12 月度例会 「春日山原始林自然観察会」 報告

担当 林 令子

日時 2006 年 12 月 4 日 (月) 近鉄奈良駅 行基菩薩像前 10 時集合

行程 近鉄奈良駅—新公会堂横—春日山遊歩道入り口—若草山—首切り地蔵—遊歩道—破石バス停 解散 15 時 30 分 歩行距離 約 11 キロ

参加者 山田、門田、岩田、宮澤、家入、小嶺、宮田、八尋、弓場 (厚) 弓場 (京) 市村 (勝) 市村 (米) 齋藤、平塚、小田、林 (下見 吉村)

快晴、総勢 16 名でスタート、初めて参加された方があり、途中で簡単な自己紹介をし合う。まだ紅葉が十分見られる奈良公園を通り抜け、いよいよ春日山遊歩道に入る。配布した「春日山原始林の樹木」を片手に「ムクロジあるある」「コシアブラ付きツクバネガシはあれや」と表を見ながら樹木チェックに余念がない。役にたつてよかったと樹木の分布表を作ってくれた「ならなぎ」の山田一子さんに感謝！（私も雨の降る中、道案内を少しだけ同定に協力したのに誰も認めてくれないのです）少し歩くと突然陽に映えた素晴らしい紅葉が目の前に広がる。「きれいやな！」の声があちこちから聞こえてくる。よかった晴れてくれて、、、コシアブラ、タカノツメの透き通るような黄葉も美しい。12 時頃若草山山頂に着き、暫く周囲の景色を眺めた後、駐車場に出るとメンバーの一人は座り込んで弁当を食べる態勢。少し先の小屋で昼食をと考えていたがまあいいか日差しは暖かいしと妥協、昼食タイムとなる。食後ドライブウェイに入り 大木や古木の多さ、山の深さに感動しながら首切り地蔵に着きひと休み。忘年会の開始時間も気になり少し急ぎ気味に滝坂の道の上を走る春日山遊歩道に入る。又ここで柔らかい夕陽が紅葉を美しく染めてくれる素晴らしい光景に出会う。ありがとう！3 枚残っていたゴマギの葉の匂いをみんなで嗅ぎ、足を速めて破石バス停近くに出る。予定通り 3 時 30 分、ここで「終わりの会」をし、お帰りになる方を見送り、残った者は忘年会会場の万葉荘に入る。

忘年会の様子もちよっぴり、、



参加者 13 名 川井会長は体調不良の為欠席され弓場 (厚) さんに進行役をお願いする。勝田 (緑) さんは忘年会の為に駆けつけてくださった。3 つのテーブルに分かれて和やかに喋り、笑い、食べ、飲み クライマックスの飛鳥鍋雑炊をいただいて 6 時ごろ終了する。お疲れ様でした。



「五條、維新をたずねる路」行事報告

12月12日(火) 午前10時30分

JR五條駅集合 天候 小雨後曇

(参加者) 守口京子、宮澤喜代子、福谷岑子、川井秀夫、林令子、弓場厚次、  
寺田正博。 7名

小雨のなかコースの概要を説明の後、出発。本日のコースは平坦地であり、市街地が多くのおんびりした行程であった。

五條駅から新町通り(旧紀州街道)へ。桜井寺(天誅組本陣跡)から「まちや館木村篤太郎生家」見学。江戸時代の町並み景観を残す新町通りを散策し、国指定天然記念物「二見の大ムク」へ。推定樹齢千年のムクノキ。樹高21メートル、幹周り8.5メートル。「五條の守り本尊」の神木として崇められている。すばらしい巨樹である。弘法大師いわれの犬飼寺で昼食。上野公園から奇祭で知られる「念仏寺」を尋ねて、隅田駅にてミーティング後解散。3時16分発の電車に乗車。 (記 寺田)

自然俳句欄

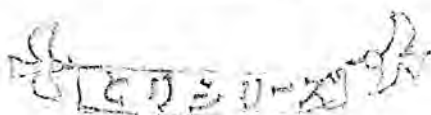
だだ押しの鬼の栖や念仏寺

川井 秀夫

12月まほろばシリーズ。紀州街道を抜けて、念仏寺。

鶴の木の巨木。陀々堂の藁葺屋根が印象的。

1月14日、鬼のだだ押し行事が近い。煤けた堂宇に、鬼の気配が漂う。



コマドリ

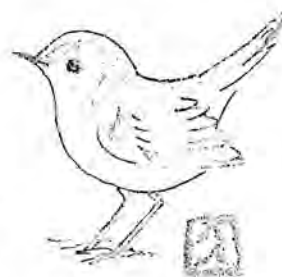
小田 久美子

ご存知奈良県の県鳥。日本では「夏鳥」で冬中国南部で越冬する渡り鳥です。11/3、滋賀県雨乞岳へアガシ、ミナラの巨樹を見に行きました。お弁当を食べていたらなんとコマドリと遭遇! ビックリし帰宅後調べて亜種のクマドリが冬も残るとあり一旦ガッテンしましたが、秋が遅かったのも、その頃夏鳥の渡り目撃情報が多くありますので、後発の渡りの途中だったのかも知れません「あんた早く行かないと寒くなるよオ」。

オスの囀りが「ヒン・カカカ」と聞こえることから、「駒鳥」と名付けられました。

ウグイス、材刈と共に「日本三名鳥」の一つです。亜高山の樹木が生い茂った笹藪などが好き、山に登ると声が大きいため遠くでも囀りを聞くことは多いですが、その姿にはなかなか出会えません。私も昔、舩倉島で見たきりでした。

英名 Japanese Robin (欧州ではヨーロッパ・ロビン) 学名 *Erithacus akahige* (アカヒゲ) とあるのは、シーボルトが持ち帰った標本に博物館館長が学名を付け間違ったというお粗末なエピソード付きの鳥です。因みに日本特産のアカヒゲには「コマドリ」と付いたままです。



## 生駒棚田竹林整備に参加して

会員の多くの方は、ご存知だと思いますが棚田の傍の里山も整備されているので参加しました。

里山が荒れている、特に葛や竹に侵入され、樹木が弱っている事は良く見聞きするので、知ってはいた。

実際にその現場の中に入るのは初めての経験で、息をのむ程の驚きでした。この林の現有勢力は竹が1/2樹木1/4枯死した立木1/4である。かろうじて生きている木々は光を求めて少しでも上に伸びようとして、まるで背丈だけ伸びた貧血児の様に見える。その上に、ツタ（くず？）が巻き付いている木も多く見られた。

竹には当然巻き付かない。生き延びている木々が悲鳴を上げている声が鈍感な私にも聞こえる様であった。

本日の竹整備班は奈良ネイチャーからは川井会長、古川、阿部、明石、の各氏と出口さん他に女性1人を含む合計9名古川さんから注意事項あり（なるべく低位置の節の上で切る、雨が溜ると夏に蕨蚊が発生する。倒す前は周囲に知らせる等）

各々約百平方メートルに散り作業にかかる。ここのマダケは直径が約10cm程度長さも8m・位が多く、始めは緊張したが慣れると、段取りが解り整理も進みだんだん明るく空の見える林になるのが楽しくて時間が経つのも忘れさせた。振り返ると木々も喜んでいる様にも見えるが又、頼りなく立っている様にも見える。健康な林になるには、息の長いアフターケアが必要だと感じた。天候も良く全員無事故で、良い汗を流した1日でした。

新年には、一人の力は無力だが、もう少しだけ多く行動しようと思う。

12月11日

小嶺 敏勝





- ★12/2 平城旧跡・水上池 トモエガモ・オシドリが多く入りました。 (小田)
- ★12/4 高山くろんど池 マヒワの群れがいました。 (小田さんの友人)
- ★ 斑鳩から・12/14・18 大和川にオカヨシガモのオスメス
  - ・ 12/15・18 ヒドリガモで額と頭頂が黄白色でなく頭全体が赤みがかった褐色で目の周りが少し緑色をしています。換羽の途中かなと思っていましたが、いつまでもそのままです。雑種でしょうか？
  - ・ 12月より毎日イカル10羽ぐらい神南のムクノキとエノキの大木にいます
  - ・ 22日近所の男性がイカルを見たいとのことだったので、一緒に出発。住宅から竜田公園へ大和川に下り神南の大木でイカルを10羽見て2時間のコースが終わりました。イカル、オカヨシガモ、チョウゲンボウなど32種でした。 (勝田)



### 【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)  
(忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分 柳生街道沿い。初回作業地隣
- 〈集合場所〉 国道369号線  
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日 時〉
- |           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 1月 8日 (祝) | 9時20分  | 第63回 |
| 1月23日 (水) | 10時20分 | 第64回 |
| 2月11日 (日) | 9時20分  | 第65回 |
| 2月21日 (水) | 10時20分 | 第66回 |
- 〈終了予定〉 3時頃

【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている時は中止いたします。

〈交 通〉 奈良交通バス

平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]

土・日・祝 [柳生行き]

JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺

日祝 8:26 8:29 9:02

平日 9:30 9:33 10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物

ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

作業をしなくても結構です。森林浴を楽しんで下さい。待っています。

〈連絡先〉 弓場厚次

阿部和生

寺田正博

## 【作業報告】

12月2日(土) 9時20分 快晴…正午・曇…雨

4℃ 2℃

〈参加者〉 川井、竹本(V)、明石、大石、弓場。 5名

9:40 作業指針に従い、除伐 及び林床の整備作業を開始。気温が下がり  
昼食後直ちに作業に入るが、1:20雨が降りだして作業は中止、終了する。

### 《植物語源豆辞典》

久しく齢を保つところからタモツの略転。久しきを待つところからマツの意味。  
行く末を待つ意から。後の葉が生じるのを待って前の葉が落ちることから待つの意味  
神を待つ意。葉がまつ毛に似るところから。常緑であるところからマトノキ(真常貴)  
の意味。葉が幹にまとわりつくことからマツ葉木の意、など、『日本国語大辞典』  
は21項目をあげて語源説を紹介している。

「松竹梅」が目出度いのは、植物学的にいえば[松]が裸子植物の代表、[竹]が  
単子葉類の代表、[梅]が双子葉類の代表で、植物界三界をそれぞれ統べている、と  
いうことだ。そして、正月のしめ飾りに使う[ウラジロ]は隠花植物の代表だから、  
以上四者で植物界全体の代表が揃うということになる。



## 第20回近畿自然歩道・まほろばの路

### 【コース名】 高見川清流と文学を尋ねる路

「日程」 19年1月18日(木)

「集合」 榛原駅(近鉄大阪線) 南側出口 9時50分

「コース」 距離 10キロ 所要時間 約4時間

高見川沿いに、東吉野村から国栖の里へ自然と文学と歴史を尋ねて歩きます  
東吉野村一帯は、壬申の乱、南北朝、天誅組など歴史の舞台です。

一方では、この土地をこよなく愛した俳人原石鼎(大正ホトギス作家)を始め  
多くの俳人達の詠んだ句碑の見られる里でもあります。

コースは高低差の少ないなだらかな道です。新春の歩き初めに是非どうぞ。

「交通」 \*近鉄を利用して榛原駅へ

西大寺 8:42発(急行)⇒八木 9:14発(急行)⇒榛原 9:27着

鶴橋 8:38発(大阪線急行) ⇒ 榛原 9:27着

\* 榛原駅より 奈良交通バスを利用(9:55発 大又行き) 蟻通下車

「帰路」 新子局前バス停 3時29分発 で上市駅へ

担当 古川祐司

# 岩井川法面見学会と講演会

演題 [春日山の隣で行われた自然破壊と再生の試み]

—岩井川ダム法面の事例から—

日時：平成19年1月28日(日)

場所：午前 10:00~12:00 岩井川ダム (JR奈良駅より南東6km程)

午後 13:30~15:30 奈良教育大学 キャンパス306号教室

集合場所：近鉄奈良駅 行基菩薩像前 10:00 (現地へはタクシーに分乗して)

寒さにご注意ください!

午後の講演会にご参加—近鉄奈良駅前バス停 1番乗り場

市内循環バス&高畑町行き乗車 10分ほど 高畑町停留所下車すぐ

講師：松井<sup>きよし</sup>淳教授

理学博士 奈良教育大学教授。植物生態学(カエデの繁殖生態や湿原植物生態を研究)を専攻され最近は大峰山脈や大台ヶ原の植生保全・再生にも携わる。NPO法人森林再生支援センターの理事。

会費：オープン講座 (無料)

—担当、 林

川井秀夫(

## <2月の予定>

### 第21回近畿自然歩道・まほろばの路

2月例会「野鳥観察会」

[コース名] 阿騎野・万葉の路

—「交野ふれあいセンター・白旗池」へオシドリを観に行きましょう—

[日程] 2月15日(木)

[日程] 2月23日(金)

[担当] 明石 嘉一郎

[担当] 小田 久美子

### 協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

#### [1月の取り組み]

向山の整備(里山林の整備着手しました)、草刈り、石垣出し 椎茸の収穫、竹炭釜での炭作り…炭焼きに興味の方、経験者の方ご参加ください(縦型で3~4時間)

作業日…1月7日(日)、14日(日)、21日(日)、29日(月)、

14日“トンド祭り”のため 1月は変則です、ご注意ください。

◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣

セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)

◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴

◇ 連絡先…事務局 大寺道代

☆向山(二次林)の整備が始まりました。森林浴をしながら作業に参加しませんか!

## 平成 18 年 12 月度 幹事会議事録

日時：12月5日 午後5：30～8：30分 場所：奈良県女性センター

出席者：8名(欠席5名) 司会：林 書記：阿部

### 「報告事項」

- (1) 会員数：95名 現金残高：¥232,663円 木工教室用の良い工具が購入できた。
- (2) 11月例会「曾爾高原」創立五周年記念、一泊研修は、快晴に恵まれ参加者も多く価値ある例会となった。収支報告有り幹事会で了承され、残金は会の会計に繰り入れた。
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの道「みたらい溪谷」天候不順の中7名参加、紅葉を愛でた。
- (4) 忍辱山整備作業：活動日11月16日に 森林総合研究所主任研究員 奥氏他4名の来訪有り、二次林の整備指針、作業方法などの指導を受けた。
- (5) 黒髪山自然塾「秋のめぐみで楽しい工作」講師4名+2名、参加者58名、リースづくりを主体、盛況裡に終了。
- (6) 「いこま棚田クラブ」例会4回実施した。地域こども教室…17日に東都島エコクラブの皆さん23名を迎え実施した。里山整備事業を開始した。
- (7) その他 「ミミズ・フェスティバル」 当会より10名参加した(詳細は会報参照)。

### 「討議事項」

- (1) 12～2月の行事予定の確認

- 例会**
- ・春日原始林と忘年会…12月4日 実施済み
  - ・新春講演会…奈良教育大学 松井教授 (午前)岩井川見学研修、タクシー利用。  
(午後) キャンパス 306号教室での講演…1月28日(日)。
  - ・野鳥観察会…交野市ふれあいセンター白旗池周辺(かも、おしどりたち) 2月

#### **近畿自然歩道・まほろばの道**

- ・五条、維新を尋ねる道…五条～JR隅田駅 約6,3キロ 12月12日 担当：寺田
- ・高見川清流と文学を尋ねる道…なだらかな道10km句碑多し 1月18日 担当：古川
- ・阿騎野・万葉の路…大宇陀～三輪(朝倉駅) 2月15日 担当：明石

#### **忍辱山整備作業** 1月8日、23日。 2月11日、21日。

- (2) 曾爾高原におけるアンケート中間集計とこれからの実施について討議した。
- (3) パンフレット作成 早急に作りたい。会員の皆さんの協力を得たい。
- (4) 会報について 新年号 2月号以下の投稿などを協議した。
- (5) シニア自然大学「進路説明会」 小嶺さん他
- (6) 幹事会開催日 会場の都合により1月16日、 2月6日、 3月13日に予定

---

**編集後記：**\*会報59号(12月号)で川井会長の環境問題シリーズは終了しました。約2年計23回にわたり環境問題を多面的かつわかり易く論じていただきました。長期執筆にお礼申し上げます。\*新春からは新たなリレー執筆を予定いたします。勿論会員の皆さんからの投稿も大歓迎です。本年もどうかよろしく。

**編集担当：勝田 均**  
TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫